

高速回線避雷ユニット

取扱説明書

ALP-VTJMJ 型

2007. 10. 5

改訂 2016, 05, 27

- ⚠警告** ・本器を使用する前に本説明書をよく読み、正しく安全に使用してください。
・本説明書はいつでも利用できる場所に保管してください。

本説明書には、以下の記号で表示された安全に関する注意事項が記載されています。必ず守ってください。

- ⚠警告** 守らないと死亡または重傷につながる可能性がある事項です。
⚠注意 守らないと傷害または物的損害につながる可能性がある事項です。

また、以下の記号で表示された取り扱いに関する留意事項等が記載されています。

- ① 守らないと本器の動作不良または損傷につながる事項です。
⚠ 本器のより適切な使用に役立つ情報です。

1. 安全に関する注意事項

- ⚠警告** ・本器の使用中は端子に直接手を触れないでください。
・本器をぬらしたり、ぬれた手で触れたりしないでください。
⚠注意 ・本器の分解や、改造はしないでください。
・本器を本説明書に記載されている以外の用途に使用しないでください。

2. 概要

本器は、並列及び直列素子の複合多段構成によるサージエネルギー減衰方式の避雷ユニットで、信号回線に設置し、信号線及び接地線より侵入する雷サージ(JIS C 5381-21 カテゴリ C2, D1 対応)を減衰させ、電気機器を保護するものです。

落雷の強度や状況によっては、極めてまれに本器の仕様を上回るサージが発生し、保護対象機器に影響が及ぶ場合があります。

3. 設置及び接続方法

- ⚠注意** 本器は、本器の型式に適合する信号ケーブルにのみ使用し、必ず本器の定格電圧・電流以内で使用してください。

本器はプラグイン型です。取付には専用ソケット(ALP-VPSK:別売品)が必要です。

本器は、保護対象機器の信号ケーブルに直列に設置します。取付及び接続は以下のように行ってください。

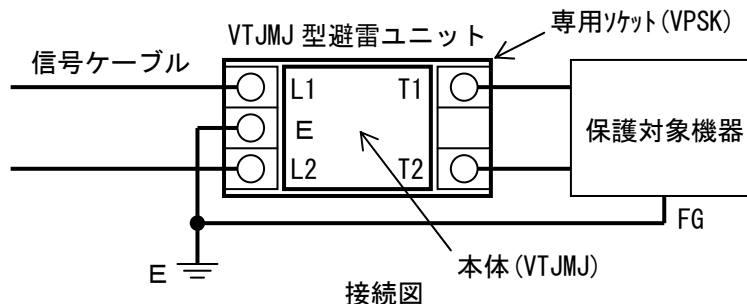
- ①専用ソケットを所定の位置に取り付けます。専用ソケットはDIN規格レールを使用すると容易に取り付けられます。
⚠ 本器は保護対象機器の近くに設置するのが原則ですが、尚かつ接地端子に近い場所を選び、接地配線が短くなるように工夫すると、本器の性能がより効果的に発揮されます。
- ②線路側ケーブルを専用ソケットのL1, L2端子に、機器側ケーブルをT1, T2端子に接続します。
① 本器の動作には方向性がありますので、必ず線路側(サージ侵入側)ケーブルをL1, L2端子に、機器側ケーブルをT1, T2端子に接続してください。尚、接続には圧着端子を使用してください。
① 専用ソケットの端子ネジを締め付けする際は0.5N/mを超える締め付けトルクを加えないでください。
⚠ 本器は対称回路構成なので、L1, L2及びT1, T2に+, -の極性はありません。
- ③E端子に接地を接続します。
① 接地は必要です。D種接地相当以上の接地を必ず取ってください。

ⓧ 接地線はできるだけ太く、短く、カールさせないようにして、サージインピーダンスを減らすと、本器の性能がより効果的に発揮されます。

ⓧ 接地電位差発生による雷害を防止するため、保護対象機器の接地を本器の接地に接続する等で、接地の等電位化を図ってください。

④本器を専用ソケットに差し込み、脱落防止バンドを装着します。

⑤各接続を確認後、通電し、異常がないことを確認します。



4. 保守点検

絶縁抵抗計を使用した以下の試験により、本器が正常かどうかの簡易判定ができます。

⚠注意 簡易試験は、必ず本器を取り外し、本器単体で行ってください。

ⓧ 本器を専用ソケットから取り外しても、ソケットのバイパス機能によりL～T間が断にならないため、保守点検作業が容易に行えます。

①絶縁抵抗試験

本器の対地間絶縁抵抗を測定し判定します。

正常判定でない場合は本器性能が劣化しています。なるべく早めに交換してください。

型名区分※	使用測定器	測定箇所	正常判定
TL, ADSL, AC100	DC100/125V 絶縁抵抗計	L1-E, L2-E 端子間	10MΩ以上
AC200	DC250V 絶縁抵抗計		25MΩ以上
上記以外	DC50V 絶縁抵抗計		5MΩ以上

②動作試験

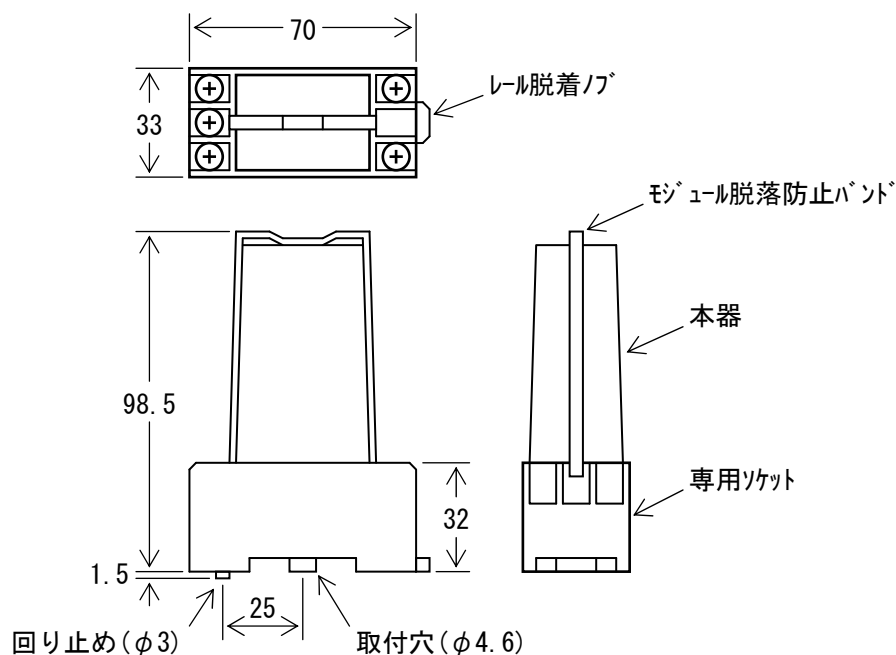
本器の対地間及び線間に絶縁抵抗測定の要領で電圧を印加し判定します。

正常判定でない場合は本器故障となります。直ちに交換してください。

型名区分※	使用測定器	測定箇所	正常判定
TL, ADSL, AC100	DC500V 以上の絶縁抵抗計	L1-E, L2-E, L1-L2 端子間	避雷ユニットの動作により絶縁不良(1MΩ以下)になること
AC200	DC1000V 以上の絶縁抵抗計		
上記以外	DC250V 以上の絶縁抵抗計		

※型名区分は右例の下線部 例：ALP-VTJMJ(TL)

5. 外形図



6. 仕様

型名	用途	最大連続 使用電圧	定格電流	挿入損失	最大放電 電流 ※1	電圧防護 レベル ※2	残留サージエネルギー /減衰量 ※2	動作速度
ALP-VTJMJ(TL)	公衆回線	DC190V	0.5A	0~3.4kHz/-1dBm以下	10kA	500V以下	50μJ以下/-70dB以上	3sec. 以下
" (TM24)	専用回線 24V	DC36V	0.5A					
" (TM48)	専用回線 48V	DC60V	0.5A					
" (ADSL)	ADSL回線	DC190V	0.2A	0~2MHz/-2dBm以下				
" (XDSL)	ISDN, xDSL回線	DC80V	0.2A					
" (HF6)	高周波 6V	DC6V	0.2A					
" (HF12)	高周波 12V	DC18V	0.3A	0~10MHz/-2dBm以下		800V以下	100μJ以下/-67dB以上	
" (HF24)	高周波 24V	DC36V	0.3A					
" (HF48)	高周波 48V	DC60V	0.3A					
" (DC12)	DC12V, 0.5A	DC18V	0.5A	直流抵抗 0.3Ω以下		500V以下	50μJ以下/-70dB以上	
" (DC24)	DC24V, 0.5A	DC36V	0.5A					
" (DC48)	DC48V, 0.5A	DC60V	0.5A					
" (DC110)	DC110V, 0.5A	DC150V	0.5A		800V以下	2mJ以下/-54dB以上		
" (AC100)	AC100V, 0.5A	AC130V	0.5A					
" (AC200)	AC200V, 0.5A	AC260V	0.5A				1500V以下	4mJ以下/-51dB以上

※1 8/20μsにて ※2 10kV, 1.2/50μs 5kA, 8/20μsにて

お問い合わせ：森長電子株式会社 耐雷プロジェクトチーム
 電話：076-240-8111 ファックス：076-240-8112
 〒920-0376 金沢市福増町南 1195